

質疑・回答書

告示番号	第48号	件 名	(仮称)豊中市立北校建設空調設備工事、(仮称)豊中市南部コラボセンター建設空調設備工事
No	質疑事項	回 答	
1	<p>参考数量書P.77(大アリーナ 屋内運動場) 消音器 S-1～S-6 計10個(ストレート×8、エルボ×2)が不明です。 図AC-167斜線部 500□×1000L:1個、800□×1500L:2個 計3個で宜しいでしょうか。また材質・仕様等は特記無き為 亜鉛鉄板・GW50t相当で宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>大アリーナ系統のサイレンサーは、800□×長さ 1500L×2個(参考型番: (株)ササクラ製 5S型同等品以上)とします。 ステージ系統のサイレンサーは、500□×長さ 900L×1個(参考型番:(株) ササクラ製 3S型同等品以上)とします。</p>	
2	<p>特記仕様書AC-003 各配管保温仕様の保温材種別がロックウールですが 冷媒管の屋外露出外装(RW+SUS板)以外、屋内露出部及び ドレン管の保温は参考数量書と同様にグラスウールと考えて 宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>各配管保温仕様の保温材種別がロックウールですが、冷媒管の屋外露 出外装(RW+SUS板)以外、屋内露出部及びドレン管の保温はグラスウ ールとします。</p>	
3	<p>図AC-231 南部コラボセンター4F料理室には校舎1F調理室と同様に調理台が 図示されていますが、排気フード(SUS)は制気口リストに無き為 不要でしょうか。必要な場合は寸法をご指示下さい。</p>	<p>南部コラボセンター4F料理室には排気フード(SUS)は不要とします。</p>	
4	<p>図AC-133, 223排気フード(SUS) 校舎1F調理室、南部コラボセンター4F陶芸窯室のフード付属品は FDのみとし、グリスフィルター不要と考えて宜しいでしょうか。 また南部コラボセンターのフードは参考数量書により校舎と同様に 箱型 300Hと考えて宜しいでしょうか。併せてご指示下さい。</p>	<p>校舎1F調理室のフードのグリスフィルターは不要とします。 また南部コラボセンター4F陶芸窯室は制気口リストに記載の通り、フ ード形状のボックスとします。</p>	

5	<p>特記仕様書AC-003 全熱交換器ダクト保温の範囲はSA,RA,EAとなっています。 1次側OAは外気保温特記と同様に必要と考えますが、 2次側RA(床置・天埋型)も保温が必要でしょうか。 ご指示下さい。</p>	<p>全熱交換器ダクトのSA、RA、EAの保温の範囲は、2次側も含めて必要とします。 ダクトの保温区分は以下とします。 一般換気(特記仕様書に記載の湯沸室系統を除く) EA:保温なし 全熱交換器 外気(OA):保温全巻、SA,RA,EA:保温全巻 空気調和器 EA:保温なし OA:保温全巻 RA:保温なし SA:保温全巻</p>
6	<p>特記仕様書AC-003 排気ダクト保温範囲が不明です。外壁1m程度必要と考えて 宜しいでしょうか。 全熱交換器(1次側)、浴室・シャワー系統の排気ダクトも同様と 考えて宜しいでしょうか。併せてご指示下さい。</p>	<p>全熱交換器の1次側排気ダクトの保温は必要とします。また、浴室・シャ ワー系統の排気ダクトの保温は不要とします。</p>
7	<p>図AC-201,213 室内機 ACP-C103-2(天井ビルトイン形)について、平面図は 天井カセット4方向の形状で図示されていますが機器表型式を 正と考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>図面No.AC-201のACP-C103-2は、天井ビルトインダクト型ではなく、天井 カセット型 4方向吹出を正とします。</p>
8	<p>図AC-112, 132, 140 エア搬送ファン AS-S1:9台は平面図に図示されていませんが 系統図に図示有の為、小アリーナ内に設置されるものと考えて 宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>エア搬送ファン AS-S1:9台は、図面No.144に記載しています。</p>
9	<p>図AC-210, AC-231 ストレートシロッコファン(消音型)の内、FE-S1-10, FE-S1-11は 湯沸室・キッチン系統、FE-C4-3は陶芸窯室設置の為 厨房用を使用しても宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>ストレートシロッコファン(消音型)の内、FE-S1-10, FE-S1-11、FE-C4-3は 厨房用を使用してもよいものとします。</p>

10	<p>図AC-111,112, 210 天井扇の内、以下については湯沸室・キッチン系統の為 台所用(オール金属タイプ)を使用しても宜しいでしょうか。 ご指示下さい。 FV-S2-2, FV-S4-1, FV-G1-3, FV-C1-1, FV-C1-2, FV-C2-1(内2F湯沸室), FV-C3-1, FV-C4-1(内4F湯沸室)</p>	<p>天井扇の内、湯沸室・キッチン系統は台所用(オール金属タイプ)を使用し てもよいものとします。</p>
11	<p>図AC-005, AC-128~130, AC-220,221, A-034 屋上室外機鉄骨架台は工事区分表に記載されていません。 意匠図にはメンテナンスデッキ歩廊等が図示されていますが 設備図には架台等は図示されていません。 室外機間の補助鋼材(C-100*50程度)のみ設備本工事と 考えて宜しいでしょうか。ご指示下さい。</p>	<p>屋上室外機鉄骨架台は別途建築工事とします。</p>

豊中市総務部契約検査課 TEL 06-6858-2075・2076
FAX 06-6858-7225
E-mail keiyaku-kouji@city.toyonaka.osaka.jp